



J3AER



** SEANET 2017 in Siem Reap, Cambodia 参加レポート **

J3AER 荒川泰蔵



1. 第45回 SEANET コンベンションは、カンボジアで初めて開かれました。

2017年11月16日から4日間、カンボジアの世界遺産で有名なアンコール・ワットに近い、シエムリアップ (Siem Reap) で開かれたSEANETコンベンションに参加しましたので、写真を中心にレポートさせていただきます。今回のコンベンションは開催地にアマチュア無線家がいなく、インドのアマチュア無線家VU2KKZ, Rajaさん達がリモートコントロールで準備を進めたものです。今回の参加者は19ヶ国からの約100名で、日本からは16名(JA1BRKとお嬢さん, JF1TEU & JO1LVFご夫妻, JH1AYBご夫妻, JH1EPIご夫妻, 7K3EOP, JA3QUU, JA3KVTご夫妻, JE3BEQ, JK3IYB, JA0FSB, JA3AER)でした。フィリピンから参加のDU1YV (JA2KLT)丸山さん、インドから参加のVU3OTK (JM1NCA)太田さん、マレーシアから参加の9M2/JE1SCJ吉田さんを加えると、日本人は19名でした。



写真1 参加者約100名の集合写真。3日目(11月18日)ホテルの前で撮影(主催者提供)。



写真2 (左) 第45回 SEANET コンベンションのディレクトリーの表紙 と、(右) 見開き2ページのプログラム。

2. 初日 11月16日、参加者の登録受付と開会式

筆者は前日の夜、JK3IYB西さん、JA3KVT銭谷さんご夫妻、JE3BEQ宮本さん達と関西国際空港に集結し、夜行便で早朝バンコクに到着、東京からのJA1BRK米村さんとお嬢さん、7K3EOP戸倉さん達と合流してシエムリアップ向かいました。



写真3 (左)シエムリアップ空港でのホテルの出迎え、右端は7K3EOP戸倉さん
(右)国道6号線に面したホテルの正面には、SEANETコンベンション参加者歓迎の横断幕が掲げられていた
受付は午後からで、ホテルの部屋の準備も出来ていなかったため、JA3KVT銭谷さん夫妻とバイクが引っ張るトクトクでシエムリアップ郵便局へ出かけて、準備してきた封筒に切手を貼り記念のカバーを作りました。



写真4 (左)シエムリアップ郵便局。背後にマイクロウエーブの大きな鉄塔が2基立っていた
(右)ここで買ったアンコール・ワット図案の記念切手を貼り、消印を押してもらった記念のカバー
ホテルは2つのビルの他、その背後にあるプールとオープン・エア・レストランを中心に、その周囲にバンガロー風の木造2階建て4室の建物が配置されていて、我々にはこれらの部屋が割り当てられました。部屋に荷物を置いて、そのオープン・エア・レストランで昼食を済ませ、登録受付の部屋行くと既に受付が始まっており、次々と参加者が集まってきました。この部屋には、筆者が前もって提供しておいた、過去のコンベンションの写真をプリントして展示してくれていました。



写真5 (左)過去18年間のコンベンションの写真の展示と、(右)参加者の登録受付デスク

午後4時からのお茶の時間は、ロビーから続く会議室前の広い廊下に、クッキーや果物が並べられ、コーヒーや紅茶を自由に飲みながら歓談出来るようにセットアップされていました。会議室で午後6時から始まった開会式は、VU2KKZ, Rajaさんの挨拶で始まり、参加者全員が前に出て自己紹介をしました。



写真6 (左) 開会式が始まる前に舞台上で記念撮影をする日本人参加者達 (左端はA41KB, Abdallaさん)
(右) 開会式で前に出て自己紹介をする筆者

3. 2日目 11月17日 プレゼンテーション、オールド・マーケット見学、ガラ・パーティ

午前中のプレゼンテーションはHS1ASC, Thidaさんの「ワールド・スカウト・ジャンボリーに於けるアマチュア無線活動」、G3XTT, Donさんの「ZL7Gチャタム島DXペディション」、それに、G3WUW, Allanさんの「軍事及び行政における無線通信」の3件の予定でしたが、VR2HF, Danさんの高性能小型受信機の紹介、T32AZ, KenさんのSEANETコンテストの活性化、BD4AAQ, Michael達のコストパフォーマンスの高い中国製受信機の紹介など、飛び入りもありました。



写真7 (左) HS1ASC, Thidaさんのプレゼンテーションと、(右) G3XTT, Donさんのプレゼンテーション

プレゼンテーションの合間の休憩時間には、参加者どうしがアイボール QSO をする貴重な時間です。



写真8 (左) 左から9M2KN, Kenさん、9W2PD, Rabinさん、筆者
(右) 左から筆者、G3XTT, Donさん、VK8RR, Richardさん。DonさんとはD68C以来、16年振りの再会だった

そして夜は今回のコンベンションのハイライトの1つでもあるガラ・パーティでした。イルミネーションで飾られたプールサイドは別世界に変貌し、カンボジアの伝統ダンスのショーで歓迎してくれました。夕食はダンスが終わるまでお預けでしたので、地元のカンボジアビールを飲みながらそれを鑑賞しました。



写真9 (左) 日没でやや涼しくなったプールサイドは野外劇場に変貌していた
(右) 前列左から、JA3QUU西間さん、筆者、JK3IYB西さん、
後列左から、9M2/JE1SCJ吉田さん、VU3OTK太田さん



写真10 (左) 舞台ではカンボジアの伝統ダンスで歓迎してくれた
(右) ダンスの終了後、希望者は舞台上がってダンサーと記念写真を撮る機会があった

4. 3日目 11月18日 アンコール・ワットとアンコール・トム見学、国別パフォーマンスと夕食会

この日は朝食後、ホテルの玄関先で参加者全員の集合写真(写真1)を撮影したあと、6台の小型バスに分乗して、アンコール・ワットと、アンコール・トムの見学に出かけました(これらの観光写真は省略します)。そして夜は、恒例の各国別のパフォーマンスを楽しんだ後、バイキングの夕食を楽しみました。



写真11 (左) 国別パフォーマンスの会場風景と、(右) 日本はJE3BEQ宮本さんの指揮で日本唱歌を合唱した

5. 最終日 11月19日 総会と閉会式

総会ではSEANETコンテストの入賞者の表彰式が行われ、日本人ではCWシングルオペ部門で1位に入賞した9M2/JE1SCJ吉田さんに、賞状と盾が贈られました。続いてSEANETの活性化、特に若者をいかに参加させるかをテーマに活発な意見交換が行われました。そして2019年度のコンベンションの候補地を決める討論が行われ、9M2KN, Kenさんが提案した、シンガポールからマラッカなどを經由してパナンまでを往復するクルーズ船での開催を検討することになりました。最後に、主催者の1人、VU2ETS, Saravさんの閉会の挨拶でコンベンションは終了しました。



写真12 (左) 総会風景と、(右) SEANETコンテストに入賞して表彰状を受け取る9M2/JE1SCJ吉田さん

SEANETコンベンション終了後、空港へ向かうまでに時間があつたので、XU7AKI の個人免許をもらってホテルで運用しているDF5UG, Hansさんのシャックを見学させて頂きました。SEANETの特別局の免許が得られなかったのは残念でした。

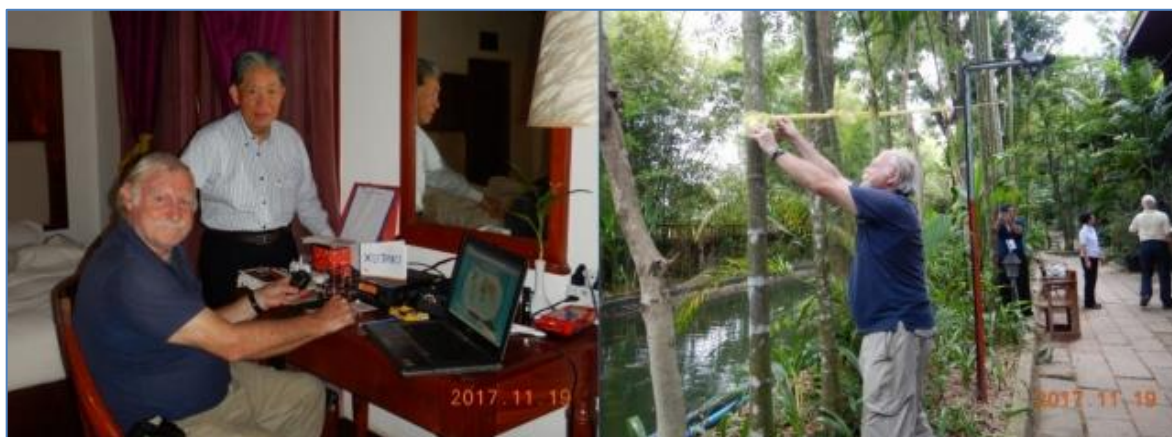


写真13 (左) XU7AKI を運用するDF5UG, Hansさんと筆者、(右) ダブルトアンテナを木に括り付けるHansさん

来年のSEANETコンベンションは10月18日から4日間、インドネシアのジョグジャカルタ（YogYakarta）で開催の予定です。YB1GJS, Sutamaさん達が、パンフレット配り予約を受け付けていました。どなたかと一緒に参加しませんか。



写真14 YB1GJS, Sutama さん達が配っていたパンフレットの裏表